

## Title: 「Slow letter」



君島 佳弘  
1987年栃木県生まれ。FW帰国からもう2年たちます。旅に出たい。ほんとうに笑

## ● 最近のエントリー

- ☞ 五月と那須風 (2007.12.28)
- ☞ 年賀状 (2007.12.26)
- ☞ 12月 (2007.12.22)
- ☞ ドナウの旅人 (2007.12.22)

## ● アーカイブ

- ☞ 2009年12月
- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年03月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年06月
- ☞ 2008年05月
- ☞ 2008年04月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2008年02月
- ☞ 2008年01月
- ☞ 2007年12月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年09月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年07月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2007年04月
- ☞ 2007年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

Slow letter > 2007年12月 アーカイブ

07.12.28

## | 五月と那須風

[Tweet](#)

[Check](#)

今日の午前中は  
大掃除や写真の整理や  
やらなくちゃならないことがあったのに  
なんだか  
ぼんやりとしてしまっていました。



—

何日か前の夜、  
どうにも眠れず布団の中でラジオを聴いていた際、  
ふと  
「今年は年末っていう感じがしないなあ」と  
思いました。

あー、でも一年の半分も海外にいたら  
そりゃあそれ相応にならないと  
一年なんて感じられるようにならないのかな。

本当に勝手ですが、  
日本の、  
春は気持ちいいくらい暖かく  
夏はうだるように暑いけど朝方は涼しく  
いつのまにか秋になっていて  
一苦手なだけどー  
風が強くて、刺すような寒さの冬が来るっていう  
そういう一年の季節の移り変わりを  
あらためてありがたいなあと思いました。

・・・

今年も地元は風強いのかなあ。

今週末あたりに帰省しようと思います。

カテゴリ:

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.12.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

Slow letter > 2007年12月 アーカイブ

07.12.26

## | 年賀状

[Tweet](#)

[Check](#)

「俺も年賀状書いてみようかなあ・・・。」

そう思ったのは、  
その間 1ヶ月の雨の降る降じ

FWの仲間とこたつを囲んで鍋をやったときのことでした。

そう、思えば  
年賀状  
—自分はそれを小学校以来ほとんど書いていない—を  
書いてみたい人が多くいるわけで。

というか  
「書いてみたい」  
とういよりは  
「書かなければならない」人たちが  
地元の栃木や東京近辺だけでなく  
岩手から  
海の向こうの八丈島、御蔵島、  
そしてもちろん小笠原の父島母島までも  
本当にたくさんいます。

生まれてこの方  
(そして写真を始めてからは増して)  
本当に多くの人にお世話になっています。  
・・・ですが、悪いことには  
「お世話になりっぱなし」で、  
お礼さえちゃんと述べられていない人たちが  
たくさんいるのですね。

たかがと言われたら  
たかがなんだろうけど。

うん、年賀状を書こう。  
(なんだか郵便局のPRみたいだな)



(写真は海外FW中、朝方見えてきた台湾・高雄市の港)

そういえば舞台のおばあちゃんたち、  
「ネンガジョウ」って知ってるのかな？

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.12.26 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年12月 アーカイブ

07.12.22

12月

[Tweet](#)

[Check](#)

先週末、  
前々から悩んでいたことに区切りをつけました。

写真を続けようと思います。これから先、ずっと。

—まだ何にも知らないけれど—  
今のところ撮る対象として農村集落にしか興味がわきません。  
おそらく、経験不足。

でも、海外FWの熱が抜けきらないだろうけれど、  
「何がしたいか」って考えたら  
—各地の農村集落の人々を撮るということ—  
どうやってもそこには行きつきません。

もし、  
「写真」か「農村地域に関わる仕事」の  
どちらかをとれと言われたら、  
正直自分は「写真」でいいです。断言できます。

でも、写真をやっていく上にもっていなければならない

被写体への  
(今の自分だとしたら農村集落の人たちへの)  
「情熱」や「誠実さ」というものに

ー偏見があるかもしれないけれどー魅了され慣れてしまい、

その、とにかく、  
それらを求めたいと思ったのです。  
それらが必要なのです。

センスもないし、頭もまわらないし  
今後ずっと興味をもって続けられるか  
わからず、・・・正直怖いけれど、

でも、今ーほんの少しだとしてもー感じている情熱を大切に  
とにかくやってみたいのです。

そんな踏み入る決心と行動が今の自分には  
最も必要かと思えます。

ー



写真はタイ北部、ミャンマーの国境近くのヒンテークという村。  
(最近海外FW中の写真ばかりなことには少々理由があります)

・・・

いやあ、それにしても今年は本当に早かった。  
気がついたらあと10日もないんだ。

カテゴリ:

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.12.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年12月 アーカイブ

## ドナウの旅人

[Tweet](#)

[Check](#)

近ごろ

やっと少しずつ時間ができてきたので  
(というかブログをぜんぜん更新できておらず  
本当に本当にすみません！  
3、4、5、6・・・期生はどうかまねしないでください。)

電車での通学時間などを利用して  
久しぶりに本を読み始めました。

今読んでいるのは  
今年の初めハタケにもらった「ドナウの旅人」という  
本です。  
著者は宮本陣さん。

前々から本を読むのは好きでしたが、

海外FW中は特に、  
ー列車での長距離移動中や、休みに気分転換をしたい際など、一  
本にはとてもお世話になりました(重いのが難点だったけれど)。

出発前の本選びは  
日用品などの準備に加えわりと大切なものになると思います。





写真は中国、徳欽県。8月。

このころは、・・・どんな本読んでたっけ？

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.12.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年12月 アーカイブ

## 無題

[Tweet](#)

[Check](#)

今月始めにかけて行われた  
セバスチャン・サルガド先生の  
ワークショップ以降、  
同じフィールドワークコースの1、2年生と  
話す機会が多くなりました。

よく、海外FWや  
アジア学院、小笠原合宿などの話を  
するのですが、  
もちろんその中心には写真があります。

そういえば、  
サルガド先生が2年前に来日された際、

「写真家の仲間は家族のようなものだ」と  
話してくれたことがあります。

いやあ、写真って良いですね。

FW良いですね 笑。



(写真はまったく関係ないのですが、)  
「壺積みすぎだろう」って思った8月26日、インドでの朝です。

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.12.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)